

本邦ノ苔類「フロラ」ニ三屬ヲ加フ

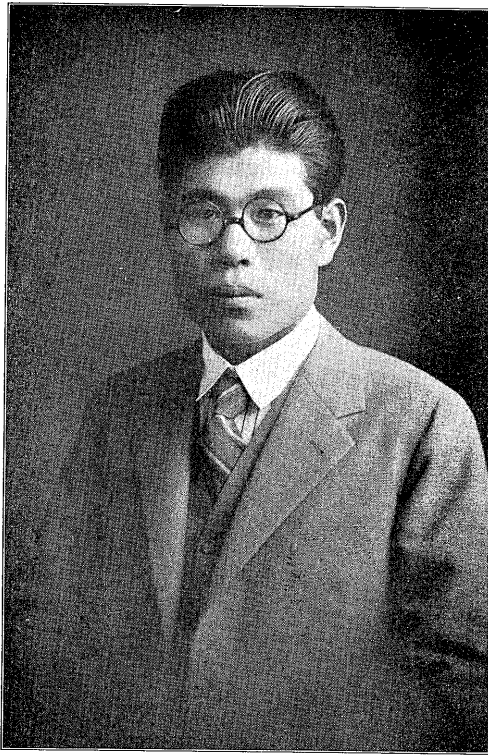
○本邦ノ苔類「フロラ」ニ三屬ヲ加フ

廣島高等師範學校教授 理學士

堀 川 芳 雄

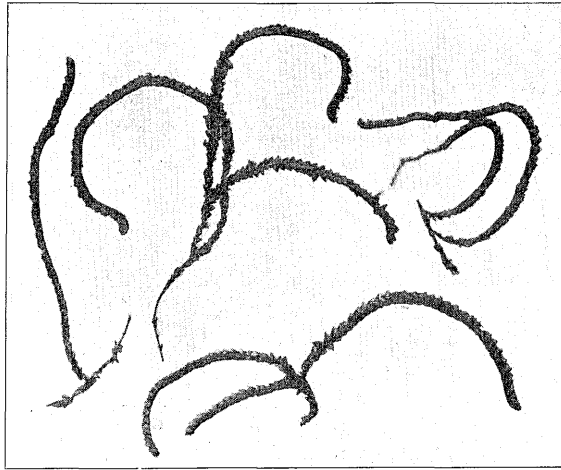
(一) プロイロチア屬 (Gen. Pleurozia)

此ノ Pleurozia ハ只一ツノ屬デ一科ヲ構成スル分類學上重要ナモノデア
ルガ今迄十一種知ラレテキテ殆ンド熱帶性ノモノデ只ツノ中一種ダケハ熱帶ヨリ北歐ノスカンデナヴァ半島迄モ
廣ク分布スルガ由來我邦内ニハ一ツ



我邦苔類研究ニ精進セラレツ、アル廣島高等師範學校
植物學教室ノ理學士堀川芳雄君
(昭和五年十月安藝廣島市ニテ撮影)

モ知ラレテキナカタケレドモ蟲ヲ捕食スル點ト多種多樣ノ科屬ヲ包含スル Jungfernmales 中テノ natural group トシテ一科ヲ形成スル點デ顯著ダツタノデ故安田教授ノ植物學各論隱花部ニモ Pflanzenfamilien 中ノ CHIFFNER ノ原圖ト記事トヲ其ノ儘紹介サレテキル位デア
ル
昭和三年一月一日、大橋捨三郎氏ガ臺灣ノ南部ニ在ル大武山ノ頂上近クデ採集セルモノヲ新竹州廳技師島田彌市氏ノ好意ニヨリ鑑定ノタメ送附サレタモノデア
ルガ既知ノ種トハ色



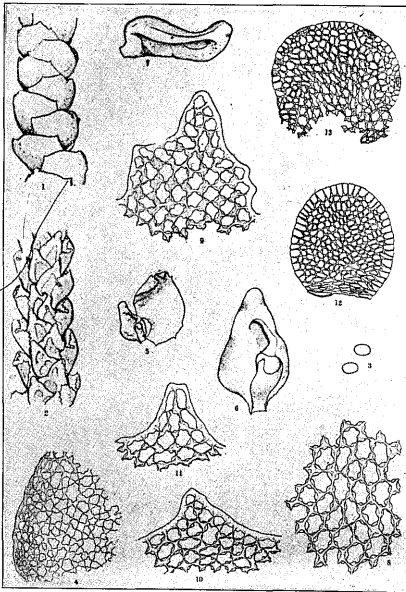
Pleurozia arcuata HORIKAWA.

ノ全形 (自然大)

色ノ點デ異ツテキル、寫眞ニ見エル様ニ植物體ハ弓形ニ彎曲シテキルノデ學名ハ *Pleurozia arcuata* HORIKAWA トシタ、色ハ大變ニ美麗ナル紫赤色デ形狀モ他ノ苔類トハ餘程様子ガ違ツテキル、葉ノ下片 (Lobule, Unterlappen) ハ囊狀デ入口ハ狭クナツテ居リ此處ニ内外二枚ノ瓣膜ガアツテ外カラ内方ニハ容易ニ開クガ逆ニ内カラ外方ニハ開カナイ仕掛ニナツテ居ル、實際ニ甲殼類ノ小サイ動物ガ囊内ニ籠デ込メラレテキルノヲ觀察シタ、ソシテ見ルト此ノ囊狀ノ下片ハ捕蟲囊ト呼ンデモヨイコトニナル

(II) ノトチリス屬 (Gen. *Notothylas*)

つのごけ科 (Anthocerotaceae) ヲ分メテ *Anthoceros*, *Megaceros*, *Aspidomites*, *Dendroceros* 及 *Notothylas* ノ五屬トスルガ從來本邦ニハ最後ノ *Notothylas* 屬ハ知ラレテキナカタ、筆者ハ東北地方・東京・廣島カラノ材料ヲ調べタ結果 *Notothylas* 屬ノモノデハアルガ外國産ノ既知八種ノモノハ餘程異ツテキルシ日本ニハ最初ノ屬デアアルノデ *Notothylas japonica* HORIKAWA ト命名シテオイタ、圖ヲ見ルト誰デモ直グ氣ノツクコトハ角(造胞體 *Sporogonium*, *Sporogon*) ガ水平ニ近イ位置ヲ保テ他ノ四屬ノ様ニ決シテ直立シナイ、又角ハ何時マデモ短クシテ胞子ガ熟スル時期ニナツタモ包膜 (*Involucre*, *Hülle*) ノ二倍位ノ長サシカナク、氣孔 (*Stomata*, *Spaltöffnungen*) モナイ、植物體ノ各細胞ガ只一個ノ葉綠體ヲ有スルコトハ無論デア

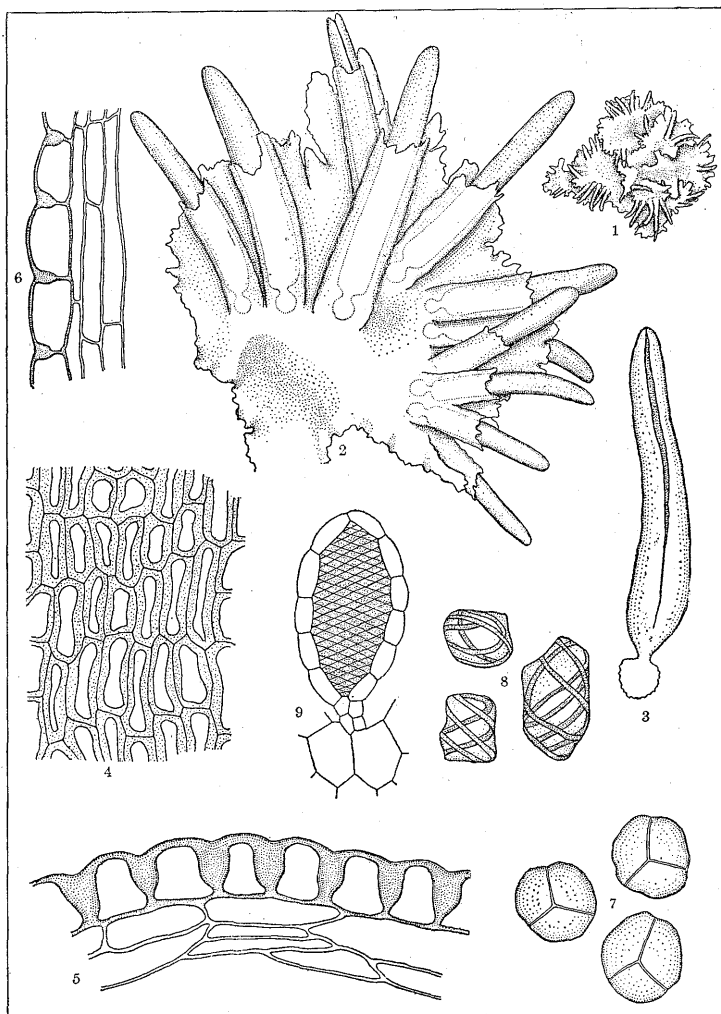
*Pleurozia arcuata* HORIKAWA.

1. 植物體ノ一部、背面 (Ca×4) 2. 同上、腹面 (Ca×4) 3. 莖ノ横斷面 (Ca×4) 4. 同上ノ一部 (Ca×63) 5. 葉 (上片ト下片) (Ca×4) 6. 下片 (Ca×10) 7. 同上、側面 (Ca×10) 8. 上片ノ細胞、中央部 (Ca×100) 9. 上片ノ先端部 (Ca×100) 10. 上片ノ最上部ノ縁齒 (Ca×100) 11. 上片ノ最下部ノ縁齒 (Ca×100) 12. 外瓣 (Ca×63) 13. 内瓣 (Ca×63)

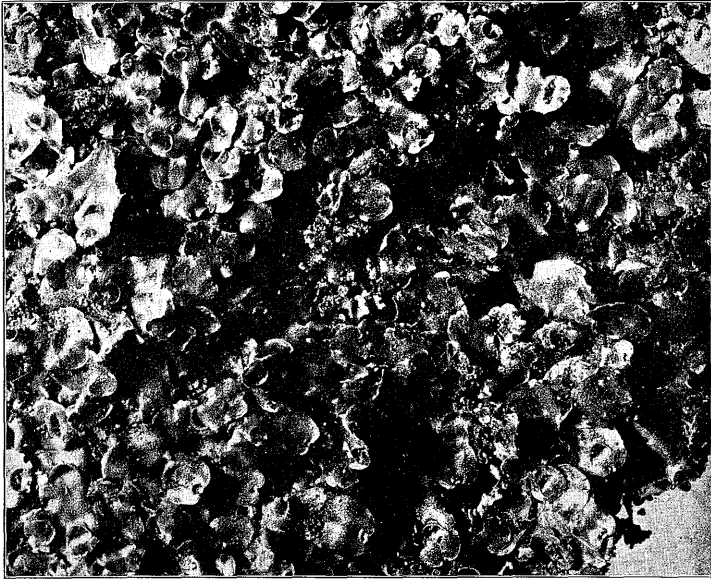
一體、つのごけ科ハ色々見地カラ苔類ニ編入スベキモノデナク蘚類ヤ苔類ト相對立スベキ獨立ノ一群デアルト主張スル學者モアリ、コノ事ハ姑ラク措イテモ植物系統學上、羊齒類ノ直接ノ先祖ハつのごけ類デアルコト或ハ少クモ羊齒類トつのごけ類トハ餘程近い親縁關係ニアルト云フコトニハ現今多クノ學者ノ見ガ等シク一致スル所デアル、此ノつのごけ科中最モ原始的或ハ最モ簡單ナ體制ヲ有スル *Notothylas* 屬ノ一種ガ吾ガ國ニモ亦廣ク自生スルコトガ明白ニナツタ譯デアル、昭和三年九月牧野先生ノ御伴ヲシテ十和田湖ニ近イ焼山カラ薦溫泉ヲ經テ八甲田山ノ植物調査ニ赴イタ折、偶々話ガ苔類ノ事ニ及ンダ時先生ハズット以前カラ小石川植物園内デ水平ニ角ヲ出ス苔類ヲ既ニ認メテヲラレテ喜色滿面デ其ノ話ヲナサレ、私ガソノ歐文原稿ヲ準備シテキルコトヲ無上ニ喜ンデ下サツタ、故ニ我日本ニ於ケル *Notothylas* ノ最初ノ發見者ハ正シク牧野先生デアルノヲ

私ハ限リナク嬉シイコトニ思フ

「牧野富太郎云フ」私ガ小石川植物園内ノ地面デ *Notothylas* 屬ノ一種ヲ採集シタノハ明治三十年頃デアッタト思フ其時採ッタ標本ヲ其内ニ紀念トシテ堀川君ニ寄贈ンタイト期シテ居ル、私ハ採集當時亞米利加出版ノ書デ其屬ノ圖ヲ見テ同屬ダト感ジテ居タガ此米品ハ *N. orbicularis* SATIV. デアツタ、私ハ邦產品ノ和名ヲつのごけもどきトシヤウト思フ、始メテ本種ヲ日本デ採ツタ私ハせめて和名ダケデモ親シク付ケテ見タイ感ジガスル

*Notothyas japonica* HORIKAWA.

1. 造胞體ヲ着ケタ全形(自然大) 2. 同上ノ一部(×8)
 3. 造胞體(×12) 4. 同上ノ外層表面觀(×233) 5. 造胞體壁ノ横斷面(×460) 6. 同上ノ縦斷面(×233)
 7. 孢子(×300) 8. 彈子(×300) 9. 藏精器(×300)

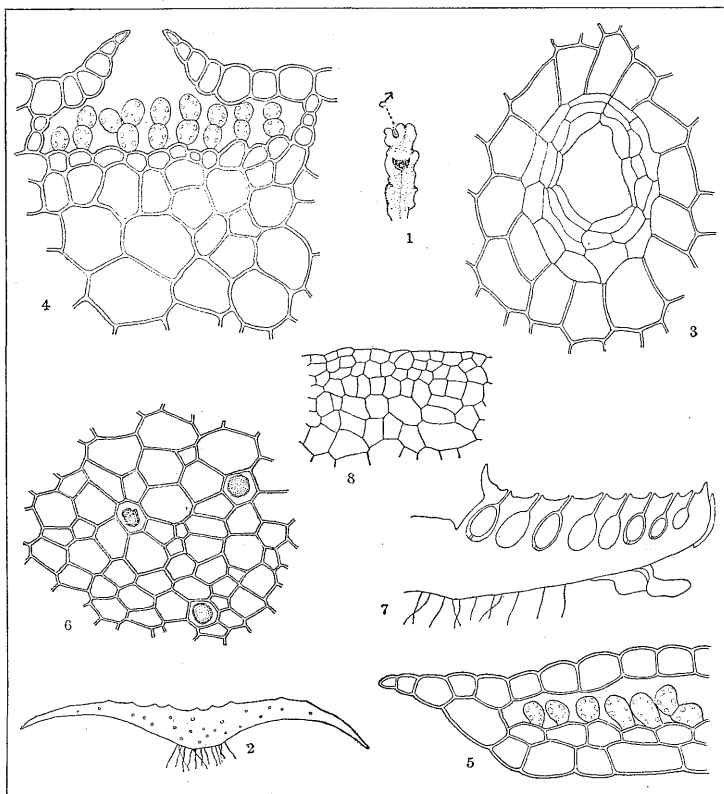


Lunularia cruciata (L.) DUM.

多數ノ半月形ノ杯形體ヲ着ク (自然大)

(三) ルヌリア屬 (Gen. *Lunularia*)

Lunularia ハ只一種 *L. cruciata* (L.) Dumortier ヲ含ム Monotypic ノ屬デアッタ歐羅巴ヤ北米ニハ可ナリ古クカラ知ラレテキテ生理學ヤ發生學ノ材料ニ用ヒラレテキル、コノ屬モ本邦ニハ今迄知ラレテキナカッタガ筆者ハ仙臺・東京・廣島ニ於テ之ヲ觀察調査シテ右ノ種デアルコトガ解ツタ、寫真ニアル通り本種ハ半月形ノ杯狀體 (Cupule, Brückkörperbehälter) ヲ一年中常ニ着ケテキル、ゼにこけ科 (Marchantiaceae) ノ多數ノ屬中杯狀體ヲ有スルハ本屬トゼにこけ屬 (Marchantia) トニ限ラル、ノデアルガ後者ノ杯狀體ハ必ず完全ナル圓形デアッタ此ノ點ダケデモ兩屬ニ判然ト區別サレルガ同節體ノ斷面ヲ作ツテ檢鏡スルト該屬ノ氣孔ハ噴火口ノ形ヲシタ單一型 (Simple, einfach) デアルガゼにこけ屬ヤ之ニ近イしいたけこけ屬 (*Choniocarpus*) デハ複合シタル樽型 (Barrel-shaped, tonnenförmig) デアル、雄器托モ圖ニ示ス如ク無柄ノ盤狀デアッタ右ノ二點ハじやこけ屬 (*Conocephalus*) ニ似テキルガじやこけ屬ニハ杯狀體ハナ



Lunularia cruciata (L.) Dum.

1. 半月状ノ杯狀體ト雄器托トヲ着ケタ同節體ノ一部 (自然大) 2. 同節體ノ横斷面 (×12) 3. 氣孔ノ表面觀 (×233) 4. 同上ノ横斷面 (×233) 5. 同節體ノ横斷面、縁邊部 (×233) 6. 同上、中心部 (×144) 7. 雄器托ノ縦斷面 (×16) 8. 杯狀體ノ縁邊 (×144)

イ、ぜにぞけ屬ヤしいたけぞけ屬デハ雄器托ハ必ず有柄デ外縁ハ圓ニ近イ尙ホ半月状ヲナセル杯狀體ハ分類上ノ位置ガ該屬カラ遠ク隔ツタ日本固有ノ苦蕒タルしゃくしぞけ屬 (*Cavicularia*) ニ出現スルノハ注意ニ値スル興味深イ事實デアル

以上ノ三屬三種ハ曩ニ東北帝國大學ノ Science Reports, Vol. IV. (1929) pp. 37-82, 395-429) ニ Studies on the Hepaticae of Japan ト題スル繼續論文中心ニ既ニ發表セシヲ以テ重複ヲ避クルタメソノ詳細ハ一切脱キニシタ